

1月行事予定

【◎：スクールカウンセラー常松先生来校日 ☆：校庭開放】

日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	日	元日	17	火	馬橋タイム 身体計測（2） 出前授業（3）
2	月	振替休日	18	水	朝読書 ペア学年（3・4①） 避難訓練 4時間授業 校内研修 ☆
3	火		19	木	ペア学年共同作品づくり 身体計測（1）
4	水		20	金	馬橋タイム 校内書き初め展始 ◎
5	木		21	土	土曜授業 学校公開 道徳地区公開授業
6	金		22	日	
7	土	冬季休業日（終）	23	月	全校朝会
8	日		24	火	馬橋タイム 糸車体験（1）
9	月	成人の日	25	水	朝読書 ペア学年（3・4③） クラブ（3年クラブ見学）昔遊び（1）☆
10	火	始業式 B時程3時間授業（全）	26	木	児童集会 校内書き初め展終
11	水	安全指導 給食始 身体計測（6）委員会	27	金	クラブ集会 ◎
12	木	ペア学年共同作品づくり 身体計測（5）	28	土	
13	金	馬橋タイム 5時間授業（全） 身体計測（4） ◎	29	日	
14	土		30	月	全校朝会
15	日		31	火	馬橋タイム
16	月	体育朝会 身体計測（3・仲） 出前授業（3）			

今月の目標

生活…公共のものを大切にしよう
給食…食事のマナーに気をつけよう
保健…姿勢を正しくしよう

仲よしミニ二つうしん

1月15日（木）に、阿佐ヶ谷中学校で、中学生との交流会を行いました。中学生にやさしく教えてもらいながらボッチャを楽しみました。仲よし学級の卒業生にも会うことができ、とても楽しい時間になりました。

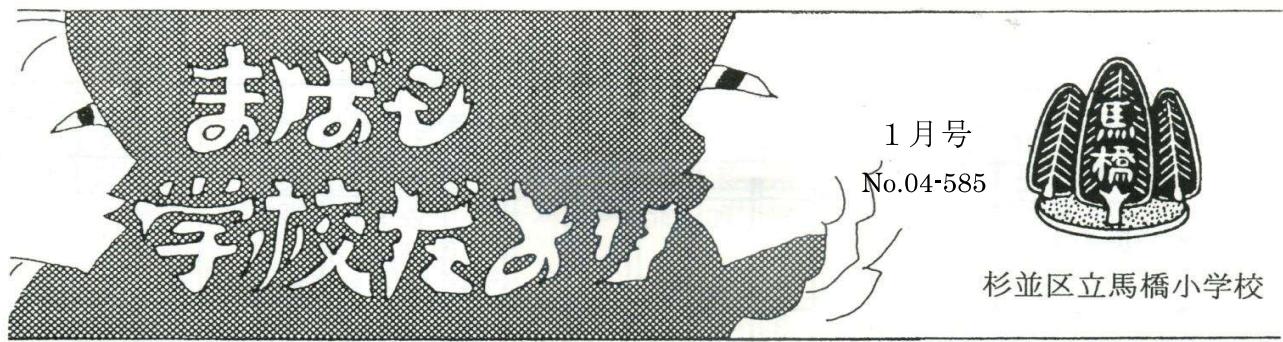
まばしの教室

道徳授業地区公開講座

日 時 令和5年1月21日（土） B時程3時間授業 下校 11時25分予定

- 1時間目 2、4、5年生 道徳授業公開 8時35分～9時20分
 2時間目 懇談会 「子供たちの豊かな心を育むために大人たちができること」
 （9時30分～10時15分）
 3時間目 1、3、6年生 道徳授業公開 10時30分～11時15分

21日（土）に授業参観及び道徳授業地区公開講座を行います。2校時には体育館にて、保護者、地域、教員が意見交換する懇談会を行います。きまりをまもるということ、周囲の人たちに親切に接することなど、「豊かな心を育む」とはどういうことか、大人たちで考えて意見交換をしたいと思います。
 ぜひご参加ください。



1月号
No.04-585

杉並区立馬橋小学校

～ 新年のお慶びを申し上げます ～

校長 小澤 伸生

新年あけましておめでとうございます。保護者、地域の皆さまにおかれましては、ご家族と共に健やかな新年を迎えたこととお慶び申し上げます。今年も教職員一同、馬橋小のより良い教育活動の実現に努めて参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、早くも昨年の話になってしまいましたが、12月のサッカー・ワールドカップ・カタール大会の日本代表の活躍に、日本中が熱くなりました。結果、目標としていた8強入りには及びませんでしたが、ドイツ、スペインといった優勝経験国に堂々と勝利し、相手を問わず自分たちのプレーを追求するゲームスタイルに、サッカーは詳しくない私にも、日本サッカーのレベルが前回大会よりも確実に上がっていることがよく理解できました。

サムライブルーの活躍が報道される中で、度々聞かれたのが森保監督がインタビュー中で遣っていた「選手の主体性」という言葉でした。サッカーというスポーツは当然ですが足を使います。そこに高い不確実性が存在するようです。また攻守が入り乱れて進むゲームなので、まさに「何が起こるかわからない。」というのがサッカーの面白さなのでしょう。チームの方向性を指し示すのは監督であり、コーチであっても、ゲームの局面局面で、選手一人一人が自ら考え、判断し、そして感じたことを進言して、それをチームの中で共有できたことが今大会の日本チームの強さであったと、ある解説者が話しているのも聞きました。

さて、この主体性と言う言葉、教育の世界でも実によく遣われる文言です。

国と国とが密接に関係し、技術革新が日々変化、先行きを予想するのは大変難しい現代社会です。AI等の進化により、10年後に無くなっている仕事も多数あると言われています。まさに予想不可能、政府も科学者も、そして教員にも「明日は何が起こるかわからない。」、そんな未来の社会に子供たちは生きていきます。そうなった時に教員から教わったことだけを知つていればいいわけではありません。どんどん変化していく社会に対応していく力が子供たちに求められています。

その為に必要なことが2つ、1つは主体性を身に付けて自分から行動することです。自分なりに工夫したり、課題をもって取り組んだりできる力をもつていることが大切です。

2つ目は協働力です。容易に答えが見つからない問題に対応していくときに、自分一人で考えるよりも、他の人たちと協力し合えればもっと良い解決策が生み出せる可能性が高まります。まずは自分の考えをもち、そこに他者の意見も取り入れて、新しい何かを創り上げていく力を身に付けていく必要があると思うのです。

今年も本校は子供の主体性、協働力を高める授業づくりを進めていきます。また学校生活に彩りを与える学校行事についても、子供たちの意見を大切にし、主体的に関わるものへと工夫します。時に昔ながらのスタイルとは違うと映るかも知れませんが、未来に生きる子供たちに必要な力が何かということを、地域、保護者の皆さんと共有し、令和5年も「脱兎のごとく」馬橋小は駆け抜けて参ります。ご理解とご協力をお願いいたします。